

2026年度 シラバス

科目名	教育学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	人間が成長するための教育の本質・目的・意義を理解し、看護における教育的基礎を理解する。						
DPとの関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p><IV.専門職業人として成長・創造・探求する力></p> <p>豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる</p> <p>自己の取り組むべき課題を見出し、課題解決に向けて行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育とは 2. 発達 3. コミュニケーション 4. 学校教育 5. 教育と学習 6. 看護における指導 7. 教育の現代的課題 8. 道徳教育・シティズンシップ教育 9. 「看護」についての授業づくり・発表 						
授業の進め方	講義 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（授業態度 60 点 レポート 40 点）						
テキスト 参考文献	<p>配布プリント</p> <p>参考文献：教育学（医学書院）</p>						

*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	統計学	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	外部講師
目標	基礎的なデータ分析法と調査法を学び、基本的な統計解析を行い、統計的な判断ができる能力を養う。						
DP との関連	<IV.専門職業人として成長・創造・探求する力> 豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統計の意義 2. 度数分布と代表値 3. 平均値と散布度 4. 記述統計と推測統計 5. 統計的仮説検定の基礎 6. 統計的仮説検定（t 検定） 7. 2 つの変数の関係 8. 2 つの変数の関係（量的変数） 9. 総括 						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	ナースのための統計学（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	情報科学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	情報機器に関する基礎的知識と医療情報の概要について学び、文章作成、表計算、プレゼンテーションの基本的な操作を習得するなど情報通信技術（ICT）を活用するための基礎的能力を養う。						
DP との関連	<II.良い人間関係を形成する力> 自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる <IV.専門職業人として成長・創造・探求する力> 豊かな人間性の基盤となる幅広い教養を身につけることができる						
授業計画	1. 情報科学の基礎 2. 情報倫理と個人情報 3. パソコンの基本操作 4. ウィンドウズの操作 5. ワードの基本操作 6. エクセルの基本操作 7. パワーポイントの基本操作						
授業の進め方	講義 演習						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 50 点 実技試験 50 点）						
テキスト 参考文献	看護情報学（医学書院） 必要に応じて資料配布						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	看護につなげる解剖生理学	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師）
目標	人体の構造と機能の知識をもとに、人間を看護の視点で捉えることができる。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の構造と機能を捉える 2. からだの不思議を調べてみよう 3. 病態マップをもとに看護を考える 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 グループワーク 10 点 課題 10 点）						
テキスト 参考文献	人体の構造と機能 [1] 解剖生理学(医学書院) 参考文献：看護につなぐ人体の構造と機能（照林社） 看護形態機能学 第4版 生活行動からみるからだ（日本看護協会出版会）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	病態学7 口腔歯牙・放射線療法・ 化学療法	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師 済生会職員
目標	口腔歯牙系の各種病変について、その本体と原因およびそれらの病変が各臓器や組織に発症したときの疾病の成り立ちと治療を理解する。 放射線の影響と防護と、放射線医学における看護師の役割を理解する。 化学療法の影響と防護、化学療法における看護師の役割を理解する。						
DPとの関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<口腔歯牙系> 1. 歯・口腔の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解 <放射線療法> 1. 放射線医学のなりたちと意義 2. 画像診断と看護 3. 放射線治療総論 4. 放射線治療と看護 5. 放射線治療各論 <化学療法> 1. がんと化学療法						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	成人看護学 [15] 歯・口腔 (医学書院) 臨床放射線医学 (医学書院) がん看護学 (医学書院)						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	保健医療論	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	済生会職員
目標	保健医療福祉の歴史を学ぶと共に、医療とは何か、現代医療はどのように実践され、どのような問題を抱えているかを理解する。						
DP との関連	<p><Ⅲ.看護を実践する力></p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p><Ⅳ.専門職業人として成長・創造・探求する力></p> <p>国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生きること死ぬこと 2. 医学と医療 3. 保健・医療・介護 - 切れ目ないサポートの実践 <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健・医療・介護を取り巻く社会環境の変化 2) 社会保障制度 3) 公衆衛生と保健 4) わが国の医療システム 5) 救急医療・集中治療 6) がん治療 7) 周産期医療 8) 放射線診断 9) チーム医療 10) リハビリテーション 11) 介護 4. 医療と社会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医の倫理 2) 医療安全 3) 医薬品 4) 最先端医療 5) 医療情報 5. 医療経済学と医療政策 						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	健康支援と社会保障制度 [1] 医療概論 (医学書院)						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	公衆衛生学	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	外部講師
目標	疾病を予防し、人々の健康生活の維持、向上にむけて活用される科学的手法を学び、個人・家族・地域・国レベルの健康支援のあり方を理解する。						
DPとの関連	<p><Ⅲ.看護を実践する力></p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p><Ⅳ.専門職業人として成長・創造・探求する力></p> <p>国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p> <p>社会・環境問題に関心を持ち、地域社会に貢献できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生を学ぶにあたって 2. 公衆衛生とはなにか 3. 公衆衛生の活動対象 4. 公衆衛生のしくみ 5. 集団の健康をとらえるための手法 ・疫学・保健統計 6. 環境と健康 7. 感染症とその予防対策 8. 国際保健 9. 地域における公衆衛生の実践 10. 学校と健康 11. 職場と健康 12. 健康危機管理・災害保健 						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 (医学書院)						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	社会福祉	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	外部講師 済生会職員
目標	あらゆる発達段階における社会保障や社会福祉の制度を学び、社会福祉と医療・看護の連携と実際の理解する。						
DPとの関連	<p><Ⅲ.看護を実践する力></p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p><Ⅳ.専門職業人として成長・創造・探求する力></p> <p>国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p> <p>社会・環境問題に関心を持ち、地域社会に貢献できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 2. 医療保障 3. 介護保障 4. 公的扶助 5. 社会福祉実践と医療・看護 6. 社会保障制度と社会福祉 7. 所得保障 8. 社会福祉の分野とサービス 						
授業の進め方	講義 グループワーク						
評価方法	筆記試験 100点						
テキスト 参考文献	健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉 (医学書院)						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	健康支援	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	生涯を通じてあらゆる健康段階の対象における健康の保持・増進、疾病の予防に向けた支援方法を学ぶ						
DPとの関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p>心身の状態をセルフマネジメントできる</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康とその支援の意義 <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康の定義づけと健康観 2) 健康と健康に影響する生活行動 2. 健康支援の実際 <ol style="list-style-type: none"> 1) ヘルスプロモーションの位置づけとわが国の健康政策および課題 2) ヘルスケアとICT 3. 健康教育に必要な考え方と技術 4. 各ライフステージにおける健康支援 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク プレゼンテーション						
評価方法	総合評価 100点満点（課題 80点 レポート 20点）						
テキスト 参考文献	<p>地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤（医学書院）</p> <p>地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	多職種連携	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	保健・医療・福祉における専門職の役割および機能を学び、多職種における連携のあり方、多職種連携のなかでの看護職の役割を学ぶ。						
DPとの関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>多職種間との情報交換や課題解決に向けて協働できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種連携・チームでの協働 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療福祉専門職との連携 2) 医療福祉機関以外との連携 3) 多職種との連携・ワンチームでの協働 2. 地域包括ケアと多職種連携 3. 多職種における連携のあり方 4. 多職種連携のかたちと各職種の役割 <ol style="list-style-type: none"> 1) 言語聴覚士の役割と活動の実際 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 80点 課題 20点 グループワーク 10点）						
テキスト 参考文献	<p>地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤（医学書院）</p> <p>地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）</p>						

*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	臨床判断	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	臨床判断に関する考え方、臨床判断のプロセスや構成する要素を学ぶ。						
DP との関連	<p><Ⅲ.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p> <p>多様な生活・療養の場や健康状態に応じた看護が実践できる</p> <p>最適な看護実践の提供を目指し、振り返り、評価することができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床判断とは 2. 臨床判断モデルの4つのフェーズ（気づく、解釈、反応、省察） 3. ナラティブ 4. 思考発話 5. シミュレーション（実習の事例から） 						
授業の進め方	講義 演習 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（課題 50 点 グループワーク 20 点 その他 30 点）						
テキスト 参考文献	<p>基礎看護学 [4] 臨床看護総論（医学書院）</p> <p>参考文献：アセスメントに自信がつく臨床推論入門 看護の臨床判断能力を高める推論トレーニング（メディカ出版）</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	地域看護方法論	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	地域・在宅看護の対象と看護の基盤となる概念を理解し、地域で生活する人々とその家族の看護を理解する。						
DPとの関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>多職種間との情報交換や課題解決に向けて協働できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における暮らしを支える看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 暮らしを支える地域・在宅看護 2) 広がる看護の対象と提供方法 3) 地域での暮らしにおける災害対策 2. 暮らしを支える看護技術 3. 健康になるための力を引き出す対話・コミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康になるための力を引き出す対話・コミュニケーション 2) 地域でクラス人々とパートナーを組むこと 3) パートナーシップを築くための対話・コミュニケーション 4. 地域・在宅看護実践の場と連携 <ol style="list-style-type: none"> 1) さまざまな場、さまざま職種で支える地域での暮らし 2) おもな地域・在宅看護実践の場 3) 地域・在宅看護における多職種連携 5. 地域・在宅看護マネジメント <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域・在宅看護マネジメントとは 2) 多様な場における地域・在宅看護マネジメント 6. ケアマネジメントと社会資源の活用 <ol style="list-style-type: none"> 1) ケアマネジメントの概念 2) ケアマネジメントの要素・機能・過程 3) 社会資源の活用 4) 介護保険制度におけるケアマネジメント 5) マネジメントの実際 						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 90点 課題 10点）						
テキスト 参考文献	<p>地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤（医学書院）</p> <p>地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	在宅看護方法論 1	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	地域・在宅で療養生活を送る対象を理解し、日常生活の援助および医療処置に伴う援助技術を理解する。						
DP との関連	<p><Ⅲ.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p> <p>多様な生活・療養の場や健康状態に応じた看護が実践できる</p>						
授業計画	<p>1. 地域における暮らしを支える看護実践</p> <p>1) 療養環境調整に関する看護技術</p> <p>2) 活動・休息に関する看護技術</p> <p>3) 栄養・食生活・嚥下に関する技術</p> <p>4) 排泄に関する看護技術</p> <p>5) 清潔・衣生活に関する看護技術</p> <p>6) 苦痛の緩和・安全確保に関する看護技術</p> <p>7) 呼吸・循環に関する看護技術</p> <p>8) 創傷管理に関する看護技術</p> <p>9) 与薬に関する看護技術</p> <p>10) 在宅酸素療法（HOT）</p> <p>11) 非侵襲的陽圧換気療（NPPV）</p> <p>12) 在宅人工呼吸療法と排痰（HMV）</p> <p>2. 終末期の看護</p> <p>1) 終末期とは</p> <p>2) 終末期の主な看護目標</p> <p>3) 終末期の主な看護計画</p> <p>4) 在宅療養終了期の看護</p>						
授業の進め方	講義 演習 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 90 点 課題 10 点）						
テキスト 参考文献	<p>地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤（医学書院）</p> <p>地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	在宅看護方法論 2	単位数	1	時間数	15	講師	専任教員（看護師）
目標	地域・在宅で療養生活を送る対象とその家族にあわせた看護過程の展開の基礎を理解する。						
DP との関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>多様な生活・療養の場や健康状態に応じた看護が実践できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護の展開 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域・在宅看護過程の特徴 2) 地域・在宅看護過程の展開方法 2. 地域・在宅看護の療養 時期別の看護の実際 <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康な時期の看護の実際 2) 外来受診期における看護の実際 3) 入院時の看護の実際 4) 在宅療養準備期（退院前）の看護 5) 在宅療養移行期（退院後1～3か月）の看護 6) 在宅療養安定期（退院2～3月）の看護 7) 急性増悪期の看護 3. 地域・在宅看護の事例展開 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域・在宅看護における看護実践の考え方 2) 医療的ケア児の事例展開 3) 脳卒中の療養者の事例展開 4) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の療養者の事例展開 5) 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の療養者の事例展開 6) パーキンソン病の療養者の事例展開 7) 統合失調症の療養者の事例展開 8) 認知症高齢者の療養者の事例展開 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 70 点 課題 20 点 グループワーク 10 点）						
テキスト 参考文献	<p>地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤（医学書院）</p> <p>地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）</p>						

*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	家族看護	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師） 外部講師 済生会職員
目標	様々な健康レベルの家族の健康問題によって生じる課題と援助の必要性を理解する。 また、家族を単位としたアセスメント方法と家族に対する看護を理解する。						
DP との関連	<p>< II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>< III.看護を実践する力></p> <p>対象である人間を生活者として捉えることができる</p> <p>< IV.専門職業人として成長・創造・探求する力></p> <p>国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族の理解 2. 地域に暮らす対象者の理解と看護 3. 地域における家族への看護 4. 地域・在宅看護における家族を支える援助 5. 特徴的な疾病がある療養者の家族への看護 6. 家族看護の実際 7. グリーフケア 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 70 点 課題 20 点 グループワーク 10 点）						
テキスト 参考文献	<p>地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤(医学書院)</p> <p>地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践(医学書院)</p> <p>家族看護学(医学書院)</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	成人看護学方法論 1	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	急激な身体侵襲により、生命徴候の変動状態にある対象者とその家族を理解し、生命維持と心身の苦痛緩和に向けた看護の役割と援助方法を修得する。						
DPとの関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性期看護を必要とする対象者とその家族の理解 2. 急性期看護におけるチーム医療の特殊性と関連する医療チーム 3. 内部環境調整機能 4. 循環機能調整機能 5. 呼吸機能障害のある患者の看護 6. 緊急時の応援要請・救命処置 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生命危機状況のアセスメント 						
授業の進め方	講義 演習 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 80点 課題 20点）						
テキスト 参考文献	成人看護学 [1] 成人看護学総論（医学書院） 成人看護学 [2] 呼吸器（医学書院） 成人看護学 [3] 循環器（医学書院） 救急看護学（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	成人看護学方法論 2	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	手術療法が対象におよぼす影響を理解し、周術期の経時的変化を捉えながら、術後合併症予防に必要な看護の知識と援助技術を修得する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手術の概念および周術期看護の課題からみた看護師の役割 2. 手術侵襲に対する生体反応 3. 術後合併症の発症メカニズムとその予防および発症時の看護 4. 周術期の術前・術中・術後にある患者と家族の看護、看護の役割 5. 消化管手術を受ける患者の看護 6. 手術療法後の身体変化への適応過程とセルフケア獲得に向けた支援の方法 7. 清潔操作と無菌操作 8. 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 課題 20 点）						
テキスト 参考文献	成人看護学 [1] 成人看護学総論(医学書院) 成人看護学 [2] 呼吸器(医学書院) 成人看護学 [5] 消化器(医学書院) 成人看護学 [9] 女性生殖器(医学書院) 臨床外科看護総論(医学書院) 臨床外科看護各論(医学書院) 参考文献：周術期の臨床判断を磨く（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	成人看護学方法論 3	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師）
目標	慢性期にある対象とその家族が、疾病と共に生きることへの受容とその過程を理解し、セルフケア能力の向上に向けての看護の役割と援助方法を修得する。						
DP との関連	<p><Ⅲ.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p> <p>多様な生活・療養の場や健康状態に応じた看護が実践できる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人の慢性期の概念と看護師の役割 2. 慢性疾患をもつ対象者とその家族の特徴 3. 慢性期にある患者とその家族に対する援助技術 4. 消化器疾患の患者の看護 5. 内分泌疾患の治療や検査を受ける患者の看護 6. 看護過程の展開（2型糖尿病） 7. 栄養・代謝疾患の治療や検査を受ける患者の看護 8. 腎・泌尿器疾患の治療や検査を受ける患者の看護 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク 演習						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 60 点 事例展開 20 点 課題 20 点）						
テキスト 参考文献	<p>成人看護学 [1] 成人看護学総論(医学書院)</p> <p>成人看護学 [6] 内分泌・代謝(医学書院)</p> <p>成人看護学 [5] 消化器(医学書院)</p> <p>成人看護学 [8] 腎・泌尿器(医学書院)</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	成人看護学方法論 4	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	疾病や手術により、日常生活の再構築が必要な対象の生活への影響を理解し、社会復帰に向けての看護の役割と援助方法を修得する。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる 多様な生活・療養の場や健康状態に応じた看護が実践できる 保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる						
授業計画	1. 日常生活の再構築が必要な対象者とその家族の特徴 2. 運動器系の障害とリハビリテーション看護 3. 脳・中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 4. 脳血管疾患の治療や検査を受ける患者の看護 5. 脳・中枢神経系に障害を持つ患者の看護 6. 看護過程の展開（大腿骨頸部骨折）						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 課題 20 点）						
テキスト 参考文献	成人看護学 [1] 成人看護学総論(医学書院) 成人看護学 [7] 脳・神経(医学書院) 成人看護学 [10] 運動器(医学書院)						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	成人看護学方法論 5	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	がんと共に生きる現代において、がん医療に関する基礎的知識をもとに、がん患者とその家族の特徴を理解し、その看護の役割と援助技術を修得する。また、死の概念、死生観の違いを踏まえ、治療のすべのない終末期にある対象者とその家族を理解し、苦痛緩和と人生最期までその人らしく生きることへの看護の役割と援助技術を修得する。						
DP との関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代のがん医療と看護の実際 2. がん患者とその家族の身体的・精神的・社会的特徴 3. がん患者の特徴を踏まえた看護の基本 4. 化学療法・放射線療法・手術療法に対する援助技術 5. がん患者の特徴的な症状の発生メカニズムとその看護 6. 身体防御機能障害のある患者の看護 7. 緩和ケアの対象となる患者とその家族に対する看護 8. 終末期と終末期の緩和ケアの概念 9. 終末期にある対象者とその家族の特徴 10. 死をめぐる倫理的課題と看護の役割 11. 終末期にある患者に特徴的な症状と症状緩和に向けた援助技術 12. 死後の身体的変化やエンゼルケアの意義とその援助技術 						
授業の進め方	講義 演習 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 課題 20 点）						
テキスト 参考文献	<p>臨床看護総論（医学書院）</p> <p>基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）</p> <p>成人看護学 [1] 成人看護学総論（医学書院）</p> <p>成人看護学 [4] 血液・造血器（医学書院）</p> <p>成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症（医学書院）</p> <p>がん看護学（医学書院）</p> <p>緩和ケア（医学書院）</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	老年看護学方法論 1	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	老年期に起こりやすい疾患・症状・治療について理解し、健康障害をもつ高齢者への看護の役割と援助方法を理解する。						
DP との関連	<II.良い人間関係を形成する力> 自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる <III.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 高齢者のヘルスアセスメント 2. 老年症候群と看護 3. 高齢者の疾患の特徴と看護 4. 疾患を抱える高齢者の看護過程（誤嚥性肺炎）						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 70 点 事例展開 20 点 課題 10 点）						
テキスト 参考文献	老年看護学（医学書院） 老年看護 病態・疾患論（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	老年看護学方法論 2	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	加齢や健康障害によって生じる生活機能の変化を理解し、生活機能の維持・向上に向けた看護の役割と援助方法について学ぶ。いつか訪れる死について考え、最期までその人らしい生と死を支えることができるよう、エンドオブライフケアを理解する。						
DP との関連	<II.良い人間関係を形成する力> 異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる <III.看護を实践する力> 対象である人間を生活者として捉えることができる 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 加齢変化や健康障害による身体的影響 2. 高齢者の生活機能を整える看護 3. 日常生活を支える基本的活動 4. エンドオブライフケア						
授業の進め方	講義 演習 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 グループワーク 10 点 課題 10 点）						
テキスト 参考文献	老年看護学（医学書院） 老年看護 病態・疾患論（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	老年看護学方法論3	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師）
目標	<p>健康障害により治療を必要とする高齢者への看護について理解できる。</p> <p>地域から施設までを視野に入れ、様々な場所で生活・療養する高齢者に対し、場の特徴を踏まえた看護について理解しその介護家族の支援について理解する。</p> <p>高齢者の安全確保のためのリスク要因とリスクマネジメントを理解する。</p>						
DPとの関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 治療を必要とする高齢者の看護 2. 生活・療養の場における看護 3. 高齢者のリスクマネジメント 						
授業の進め方	講義 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 80点 課題 20点）						
テキスト 参考文献	<p>老年看護学（医学書院）</p> <p>老年看護 病態・疾患論（医学書院）</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	小児看護学方法論 1	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	済生会職員
目標	子どもが罹患しやすい疾病について機能系統別に原因、病態、症状、治療法について理解し、小児の疾病と治療の特徴を学ぶ。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<p>1. おもな疾患と治療</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常 2) ハイリスク新生児 3) 代謝性疾患 4) 内分泌疾患 5) 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患 6) 感染症 7) 呼吸器疾患 8) 循環器疾患 9) 消化器疾患 10) 血液・造血器疾患 11) 悪性新生物 12) 腎・泌尿器・生殖器疾患 13) 神経疾患 14) 運動器疾患 15) 皮膚疾患 16) 眼疾患 17) 耳鼻咽喉疾患 18) 精神疾患 19) 事故・外傷 						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	<p>小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 (医学書院)</p> <p>小児看護学 [1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論 (医学書院)</p>						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	小児看護学方法論 2	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師）
目標	疾病をもつ子どもと家族の看護について、病態と発達段階の側面から成長発達の促進を踏まえたアセスメントと援助方法を学ぶ。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患をもつ子どもと家族の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 観察 2) 情報収集 3) アセスメントの必要性 4) 患児の状態に応じた看護 2. 対象に応じた看護の展開 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 課題 20 点）						
テキスト 参考文献	小児看護学 [2] 小児臨床看護各論（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	小児看護学方法論 3	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師）
目標	成長発達過程にある子どもと家族の看護について、入院や検査・治療、健康段階や障害、在宅など、さまざまな状況から理解する。						
DP との関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病気・障害をもつ子どもと家族の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 病気・障害が子どもと家族に与える影響 2) 子どもの健康問題と看護 2. 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 入院中の子どもと家族の看護 2) 外来における子どもと家族の看護 3) 在宅療養中の環境と看護の役割 4) 災害時の子どもと家族の看護 3. 子どもにおける疾病の経過と看護 4. 子どものアセスメント 5. 症状を示す子どもの看護 6. 検査・処置を受ける子どもの看護 7. 子どもの虐待と看護 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 70 点 課題 20 点 その他 10 点）						
テキスト 参考文献	小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	母性看護学方法論 1	単位数	1	時間数	15	講師	専任教員（看護師）
目標	女性のライフステージ各期の健康課題を理解し、生涯を通じた女性の健康支援を学ぶ。また、成熟期女性における妊娠期の正常な経過を理解し、妊婦の看護を学ぶとともに出生前からのリプロダクティブヘルスケアの重要性について考えることができる。						
DPとの関連	<Ⅲ.看護を实践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 思春期・成熟期・の健康と看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 思春期女性の特徴と健康問題と看護 2) 成熟期女性の特徴と健康問題と看護 2. 更年期、老年期の健康と看護 <ol style="list-style-type: none"> 3) 更年期女性の特徴と健康問題と看護 4) 年期女性の特徴と健康問題と看護 3. 女性のライフステージ各期の健康課題と看護 4. 妊娠期における看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠期の身体・心理・社会的特徴 2) 胎児発育と観察状態の診断 3) 妊娠とその診断 4) 妊婦と胎児のアセスメント 5) 日常生活に関するアセスメント 6) 妊婦と家族の看護 5. 多様化する妊産婦のニーズ 6. 出生前診断、不妊治療と看護 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 80点 課題 20点 グループワーク 10点）						
テキスト 参考文献	母性看護学 [1] 母性看護学概論（医学書院） 母性看護学 [2] 母性看護学各論（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	母性看護学方法論 2	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	分娩期の正常な経過と妊娠期、分娩期、新生児期、産褥期の異常について理解し、妊婦と産婦、新生児の看護を学ぶ。						
DP との関連	<Ⅲ.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩期における看護 2. 妊娠の異常 3. 分娩の異常 4. 産褥の異常 5. 精神障害合併妊婦と家族の看護 6. 妊娠の異常と看護 7. 産褥の異常と看護 8. 新生児の異常と看護 						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点満点						
テキスト 参考文献	母性看護学 [2] 母性看護学各論（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	母性看護学方法論 3	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	専任教員（看護師）
目標	産褥期と新生児の正常な経過、産褥期の異常の看護について理解し、褥婦と新生児の看護を学ぶ。						
DP との関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p> <p>多様な生活・療養の場や健康状態に応じた看護が実践できる</p> <p>保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児の生理と機能 2. 新生児のアセスメント 3. 新生児の看護 4. 正常な産褥経過 5. 産褥期における看護 6. 産褥期のアセスメントと看護 7. 産褥期・新生児期の保健指導 						
授業の進め方	講義 演習 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 70 点 事例展開 20 点 グループワーク 10 点）						
テキスト 参考文献	母性看護学 [2] 母性看護学各論（医学書院）						

*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	精神看護学概論	単 位 数	1	時 間 数	20	講 師	専任教員（看護師）
目標	精神の健康・健康問題について学び、精神看護の役割、精神障害者に対する法について学ぶ。						
DPとの関連	<p>< I. 済生の力 > 生命と人生を尊び、他者への思いやりや寄り添う気持ちをもつことができる</p> <p>< II. 良い人間関係を形成する力 > 自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる 異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>< III. 看護を实践する力 > 対象である人間を生活者として捉えることができる 保健・医療・福祉制度と他職種の機能と役割を理解することができる</p> <p>< IV. 専門職業人として成長・創造・探求する力 > 専門職業人としての責務を自覚し、職業倫理に則って行動できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護学で学ぶこと 2. 精神保健の考え方 3. 社会のなかの精神障害 4. 地域におけるケアと支援 5. 災害時のメンタルヘルスと看護 6. 各発達段階であらわれやすい精神障害・心的不調 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 80 点 グループワーク・課題 20 点）						
テキスト 参考文献	精神看護学 [1] 精神看護の基礎精神看護学 [2] 精神看護の展開						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	精神看護学方法論 1	単 位 数	1	時 間 数	20	講 師	外部講師
目標	主な精神疾患、検査、治療法について理解し、看護に活用するための基礎的知識を学ぶ。 各発達段階で発症する精神障害について基礎的知識を学ぶ。						
DP との関連	<II.良い人間関係を形成する力> 自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる <III.看護を実践する力> 根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる						
授業計画	1. 精神科疾患のあらわれ方 2. 精神障害の診断と分類 3. 精神科での治療						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	精神看護学 [1] 精神看護の基礎 (医学書院) 精神看護学 [2] 精神看護の展開 (医学書院)						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	精神看護学方法論 2	単 位 数	1	時 間 数	15	講 師	外部講師
目標	精神看護の特徴や精神疾患患者の特徴を捉え精神看護師の役割を学ぶ。						
DP との関連	<p><II.良い人間関係を形成する力></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p><III.看護を実践する力></p> <p>根拠ある知識・技術に基づき、対象の意向を尊重した看護が実践できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回復を支援する 2. 入院治療の意味 3. 身体をケアする 4. 安全をまもる 						
授業の進め方	講義						
評価方法	筆記試験 100 点						
テキスト 参考文献	精神看護学 [1] 精神看護の基礎精神看護学 [2] 精神看護の展開						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度 シラバス

科目名	精神看護学方法論 3	単 位 数	1	時 間 数	30	講 師	専任教員（看護師） 済生会職員
目標	心の健康と不健康について理解し、看護師のメンタルヘルスの重要性やリエゾン精神看護の必要性を学ぶ。						
DP との関連	<p>< II. 良い人間関係を形成する力 ></p> <p>自己の思いや考えを表現し、他者に効果的に伝える工夫や配慮ができる</p> <p>異なる文化・多様な価値観をもつ人々をかけがえのない人間として尊重できる</p> <p>コミュニケーション能力を身につけ他者と協同し、互いに成長し合える関係が築ける</p> <p>心身の状態をセルフマネジメントできる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健の考え方（心の健康） 2. 心のはたらきと人格の形成 3. 関係のなかの人間 4. ケアの人間関係 5. 医療の場におけるメンタルヘルスと看護 6. 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス 7. メンタルヘルスとセルフケア 						
授業の進め方	講義 課題 グループワーク 発表						
評価方法	総合評価 100 点満点（筆記試験 70 点 グループワークや発表・課題 30 点）						
テキスト 参考文献	精神看護学 [1] 精神看護の基礎精神看護学 [2] 精神看護の展開（医学書院）						

* 進行状況により、授業内容を変更する場合があります。

2026年度 シラバス

科目名	災害・国際看護	単位数	1	時間数	30	講師	専任教員（看護師） 員 済生会職員
目標	災害看護および災害時の看護職の役割と必要な看護技術、国際協力を理解する。						
DPとの関連	<p><IV.専門職業人として成長・創造・探求する力></p> <p>国内外の社会の変化に関心を持ち、対応しようとする姿勢を持つことができる</p> <p>社会・環境問題に関心を持ち、地域社会に貢献できる</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とグローバル化した社会 2. 求められる災害看護学と国際看護学 3. 災害医療の基礎知識 4. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 5. 災害看護の実際を考える 6. 国際看護学とは <ol style="list-style-type: none"> 1) 世界の健康問題の現状 2) 国際看護学の定義 3) 国際看護学の対象 7. 国際看護学関連する基礎知識 8. グローバルヘルス 9. 開発協力のしくみ 10. 国際協力と看護 11. 国際救護と看護 12. 災害・国際看護の実際 						
授業の進め方	講義 演習 課題 グループワーク						
評価方法	総合評価 100点満点（筆記試験 80点 課題 20点）						
テキスト 参考文献	看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学（医学書院）						

*進行状況により、授業内容を変更する場合があります。